

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(愛媛県立新居浜商業高等学校)

学校番号 (8)

評 価 実 施 日	令和 4 年 2 月 2 4 日 (木)
委 員	企業代表 (1 名) 地域代表 (2 名) 学校評議員 (5 名) 保護者代表 (2 名)
評 価 ・ 提 言 等	
1 今年度の最終評価について	提言等に対する改善方策等
(1) 学習指導 本校では、個別指導や習熟度別授業、チームティーチングにより、分かりやすい授業を実践することで基礎・基本の定着を図っており、一定の成果を上げることができている。また、1人一台端末をはじめとするICT機器の活用を図っている。 皆勤者は、2学期末(12月)時点で、130人が皆勤を続けている。目標は全校生徒の3割5分程度に設定している。出席率は、現時点では、94%で、目標の98%を下回っている。それには、特定の生徒の欠席や遅刻が多いことが挙げられる。	・現在は、新型コロナウイルスに感染状況もあり実施が難しいアクティブラーニングの手法も感染状況を見ながら実践を増やしていくことで、生徒の自主的な学習の機会を作っていくと考えている。 ・欠席や遅刻の生徒には、担任から家庭へ連絡を行うが、繋がらないことも多く、家庭との連携の難しさを痛感している。しかし、根気強く連絡を取り合っていきたい。
(2) 生徒指導 すべての学年において、友人関係のトラブルが多くなっている。中でも、SNSへの書き込みから起こるトラブルが増えている。 また、学校周辺ではヘルメットを被っているが、離れると被っていない生徒がいると聞く。 交通事故に関しては、前年度は5件、今年度は2件である。 特別支援教育に関しては、特別支援コーディネーターやスクールライフアドバイザーとの連携を高め、担任一人で抱え込むことがないように、チームとして取組、アンケートや面談によって得られた生徒一人一人の困り感などに関する情報の共有を進めている。	・SNS上のトラブル防止に向けて、マナーを守って正しく使えるように、情報処理の授業などを通して情報モラルについても、継続的な指導を行っていきたいと考えている。 ・交通安全教室や交通安全講話などを通して、生徒の意識改革に取り組んでいきたい。 ・信号を守り、左側通行を守って自転車を運転していても事故に遭うことがある。大丈夫だろうではなく、起きるかもしれないという意識を周知していきたい。 ・今後もきめ細やかな対応で生徒に寄り添う取組を実現したいと考えている。

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
(3) 特別活動 部活動加入率は75.1%（目標75%）ではあるが、もっと加入率を上げて活性化させたいと考えている。しかし、コロナウィルスの影響による度重なる活動停止や出席停止扱いによる欠席、大会の中止などにより、目標設定ができにくくなっている。その結果、モチベーションを保つことが以前よりも難しくなっている。 学校行事においては、規模が縮小される中で、行事を企画・運営する力を生徒会中心に身に付けさせてきた。その結果、6人のリーダーが育っており、1年生たちもその姿を見て成長してきている。	・本校には熱心な指導者が数多くいるので、コロナ禍を抜ければ、状況も良化してくるものと考えてる。 ・来年度は、全国高校総体の競技が愛媛県でも行われることから、その準備や大会当日のお手伝いなども生徒会が中心となって進めていく必要があるため、今後とも、学校を引っ張っていけるリーダーの育成に努めていきたい。
(4) 進路指導 卒業予定者144名のうち、進学者は67名（進学決定率100%）であった。就職内定者に関しては学校斡旋を希望する、全員の進路実現が図られている。また、43名が地元企業に内定している。	・進学については、四年制大学進学に向けた学力の向上、就職については、志望の明確化を進めるための研究授業の充実や面接指導の一層の充実など、進路指導の充実に取り組んでいきたい。 ・地元を支える人材を育成していくためにも、地域企業と連携し、就職指導を図っていきたい。 ・増加するオンライン入試に対応するための、設備の拡張が必要である。
(5) キャリア教育 インターンシップが中止となったが、自己紹介カード作成を通し、生徒一人一人の学びの場を充実させることができた。また、3月には体験型の校内実習を行う予定である。 商業科目の資格検定は、1年生の3級2種目取得率92%（目標70%以上）、2年生の2級2種目取得率56%（目標50%）3年生の1級取得者75%（目標50%）、3年生の1級2種目取得者数26名（目標25名）ということで目標を達成することができた。	・インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症対策を含めた実施時期、方法の検討が必要である。 ・上級資格、上級検定の取得ができるよう、習熟度に応じたきめ細やかな指導体制を構築していきたい。

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
2 学校運営への提言 (1) 地域との銅板コサージュ作成や、七福芋の商品販売など、様々な地域連携活動を行っているが、見る機会、知る機会がないように感じた。また、地域連携活動も一部の生徒だけではなく、多くの生徒が関わってほしいと感じた。 (2) SNSトラブルに関しては中学校・高校で年々増加しているように感じる。 (3) 新型コロナウイルスによる出席停止を境に、欠席者、遅刻者が増えている。 (4) 地元企業に努めている卒業生から「卒業生の声」を開く会を、定期的に関くことにより、生徒の進路に対する意識が変わっていくように感じる。	・ ホームページに掲載し、多くの人に知っていただけるようにしたい。また、一部の生徒だけではなく、多くの生徒が参加できるように声掛けや活動をしていきたい。 ・ 生徒のモラル教育だけではなく、保護者の協力も必要なので、保護者も参加できる研修会を取り入れていく必要がある。 ・ コロナ禍により保護者と直接会うのが難しくなっているが、保護者と細めに連絡を取り、生徒の状態を把握しておく必要がある。 ・ 新型コロナウイルスが流行するまでは卒業生を招いて研修会を行っていた。今後も、感染状況をみながら実施していきたい。また、リモートでの研修会も検討していきたい。